

令和2年度 曾根干潟環境調査（底質・底生動物）結果

調査概要

1 調査目的

カブトガニなどの希少な生物が多数生息する曾根干潟の底生動物調査を行うことにより、干潟生態系保全のための基礎資料とするもの。また、底生動物の生息環境（底質）の調査を行い、底生動物と干潟環境との関係を解析・考察することを目的とする。

2 調査日

令和2年10月15日および16日

3 調査場所

調査場所：北九州市小倉南区 曾根干潟（図-1.1 調査位置図参照）

底生動物調査 干潟域 11 地点

生息環境調査 干潟域 11 地点



図-1.1 調査位置図

底質調査結果

生息環境調査(底質調査)の地点ごとの分析結果は以下のとおり。

地点ごとの生息環境調査の分析結果

地点		生息環境調査(底質調査)							
		粒度組成			成分分析				
		泥分(%)	砂分(%)	礫分(%)	硫化物(mg/g)	COD(mg/g)	T-N(mg/g)	T-P(mg/g)	クロロフィルa ($\mu\text{g/g}$)
干潟域	G-1	91.6	8.4	0.0	0.03	6.6	0.78	0.35	2.90
	G-6	25.5	71.9	2.6	N.D.	1.5	0.26	0.15	4.50
	G-7	40.6	58.3	1.1	0.01	1.9	0.31	0.04	7.70
	G-9	34.7	63.2	2.1	0.01	2.6	0.44	0.11	6.90
	G-10	48.9	50.7	0.4	N.D.	3.2	0.38	0.15	4.30
	G-13	12.6	76.8	10.6	N.D.	2.2	0.35	0.04	6.80
	G-14	64.1	34.5	1.4	0.04	2.8	0.40	0.13	2.30
	G-15	48.2	51.8	0.0	0.02	2.1	0.31	0.14	3.30
	G-17	8.7	91.3	0.0	0.01	1.4	0.15	0.05	3.70
	G-21	39.9	60.1	0.0	N.D.	1.6	0.23	0.12	6.10
	G-23	22.9	77.1	0.0	N.D.	1.4	0.24	0.09	1.90
定量下限値					0.01	0.2	0.02	0.02	0.01

※N.D.は定量下限値未満であることを示す。

底生動物調査結果

地点ごとの分析結果概要

調査地点	種類数 (種)	個体数 (個体/ m^2)	湿重量 (g/m^2)	
干潟域	G-1	5	250	5.15
	G-6	4	31	0.19
	G-7	7	202	49.73
	G-9	23	1161	45.89
	G-10	3	69	15.47
	G-13	10	83	41.46
	G-14	7	185	7.88
	G-15	3	63	0.32
	G-17	18	472	8.71
	G-21	8	116	89.52
	G-23	9	45	2.47

確認された種は別紙のとおり。

